

クイックシート 保管＆施工時の注意点を検証

クイックシートをご使用いただくにあたり、保管や施工の際の様々な注意点をご案内しておりますが、今月号では あえてそれら注意点に反することをし、クイックシートにどのような事が起こるか実験しました。今後のクイックシートの保管・施工のご参考には是非ご覧ください。

① 溶融タイプ施工後 すぐに車で通過するとどうなるか

クイックシート溶融タイプの施工手順書に「**施工直後、タイヤ痕がつきやすいため、施工後に水をかけるなど路面温度を下げてから交通開放してください。**」とご案内しております。この実験では クイックシート溶融タイプを施工後、表面の荒熱がとれたところでシート上を車で通過し、タイヤ痕がつかか検証しました。

実験：クイックシート溶融タイプを施工し、3分後に車で通過



天候：曇り 気温：25℃ (開始時)
放置時間：3分間

シート表面を手で触っても熱くないところまで冷まし車でシート上を通過したところ、黒いタイヤ痕がついてしまいました。

結果：くっきりタイヤ痕がついた

表面の荒熱がとれる程度では不十分で、そのまま開放してしまうと**シートにタイヤ痕がつく**可能性が十分あることがわかりました。原因は 施工時の余熱や、路面の地熱の影響で**シート表面に粘り気がでる**ためです。

施工後にビーズ等を散布してください

夏期は気温・地熱が高いため、よりタイヤ痕がつきやすくなります。対処法として施工後シート表面に**ビーズ等を撒き、表面の粘り気を覆う**ことによりタイヤ痕を防ぐことが出来ます。更に可能であれば**たっぷりの水**で冷やしたり、水が使用出来ない場合は**開放までの時間を長く**とるなど、十分に熱を冷ましてから開放してください。

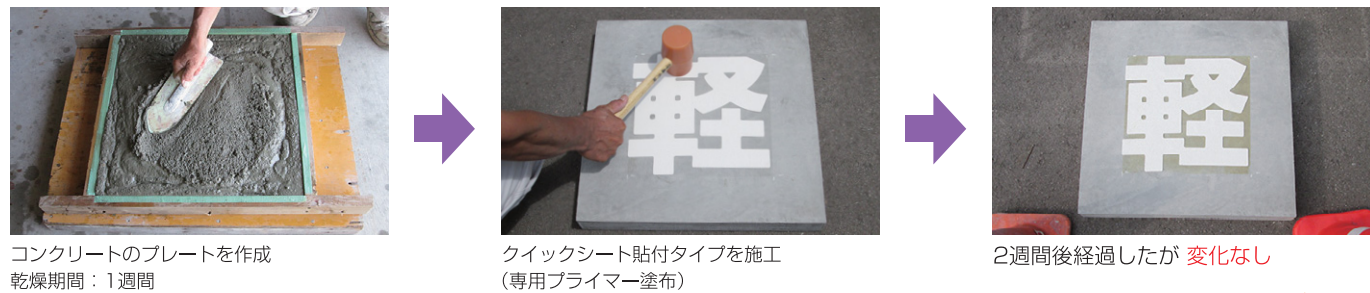
対策!!



② コンクリートに貼付タイプを施工するとどうなるか

クイックシート貼付タイプの施工手順書に「**コンクリート面への施工をする場合、屋外ではコンクリートに含まれる水分により、施工後シートに膨らみが生じることがあります。**」とご案内しております。この実験では コンクリートのプレートを作成し、貼付タイプのクイックシートを施工して経過を観察しました。

実験：コンクリートを打設し、シートを貼って経過を観察した



コンクリートのプレートを作成
乾燥期間：1週間

クイックシート貼付タイプを施工
(専用プライマー塗布)

2週間後経過したが 変化なし

結果：変化見られず…実験失敗…

今回の実験では、残念ながら何の変化も確認できませんでした。原因はコンクリートをプレートとして作成したため**含まれる水分が少なかった**ことと、本来路面に打設するコンクリートとは違い**地中から水分を吸収しなかった**からと考えられます。

膨らみが生じる場合もあります

実際のコンクリート路面では、**雨水や地中からの水分を吸収・蒸発させるため、クイックシート施工後に膨らみが生じる**場合があります。また、同じく今回は観察できませんでしたが、新設の場合打設時の環境によっては**表面のレイタンスにより接着性を損ねる**原因になりますので、コンクリート面への施工にはご注意ください。

注意!!



シートに膨らみが発生した例

③ 炎天下にクイックシートを放置したらどうなるか

夏期施工上の注意点として、「**クイックシートを直射日光に長時間あてるとシートが伸びたり、柔らかくなり施工時に設置しづらくなったり、黒色は熱の吸収率が高く、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがあります。**」とご案内しております。この実験では実際に直射日光にあてた場合と、同じく夏期に注意が必要な車内に長時間おいた場合で、シートの状態変化を観察しました。

実験①：直射日光の当たる場所に 1 時間おく



天候：晴れ 気温：28℃ (開始時)
シートのタイプ：溶融タイプ
放置時間：1時間

黒いシートの表面温度が79℃まで上がり、シート全体が柔らかくなりました。
○部分の黒い線は、シートがダンボールに貼りついたものです。

実験②：車のトランク内に 1 時間おく



天候：晴れ 社内温度：30℃ (開始時)
シートのタイプ：溶融タイプ
放置時間：1時間 (トランクを開けて放置)

黒いシートの表面温度は53℃で、多少柔らかくなったがダンボールに貼りつくようなことはありませんでした。

結果：黒のシートが貼りついた

夏にはまだ早く 1 時間という短い時間ですが、**黒いシートの温度が急激に上昇**しました。その結果シート全体が柔らかくなり、特に直射日光を当てた黒のシートは僅ではありますが、**溶けはじめ**てダンボールに貼りついていました。

必ず涼しい場所で保管ください

路面温度が高温になる場所に長時間置くと、**クイックシートが溶けダンボールに貼りつく**恐れがあります。また、夏期の車内は非常に高温になるため、**運搬後は外に出し、車内に長時間置かない**ようお願い致します。シートを保管する際は、施工直前まで**日光を避け涼しい場所**に置いて下さい。

対策!!



④ クイックシートを立て掛けて保管するとどうなるか

梱包の外箱や施工手順書の保管方法に「**立掛厳禁**」と表示しておりますが、保管場所の問題等で立掛けておきたい場合もあるのではないのでしょうか。この実験では、実際に立掛けておくとうなるかを検証しました。

実験：シートを立て掛けて 3 日間おく



天候：晴れ 室温：25℃ (開始時) 放置時間：3日間
シートのタイプ：溶融タイプ
テープのとめ方：製品梱包と同様 (撮影のため上蓋なし)

外枠以外のシートが完全に滑り落ち、養生テープがダンボールに貼り付いていた。

結果：シートが完全に滑り落ちた

言うほど変化しないのではと予想していたので、**僅か 3 日で完全に滑り落ちた**のは予想外でした。

上蓋があっても滑り落ちます

実際の梱包では上蓋のダンボールがありますが、**梱包の内部でシートが滑り落ちてしまう**ことが十分考えられますので、保管する際は必ず平置きで保管ください。

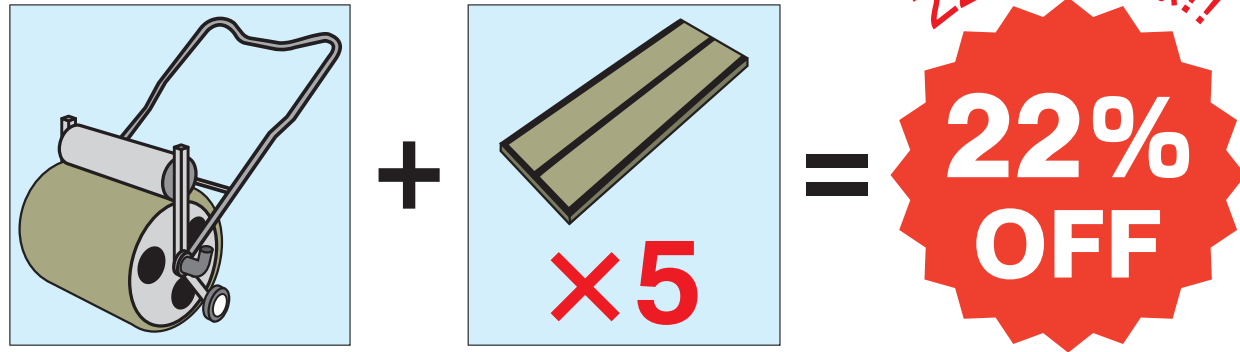
注意!!

ウォータス & スポンジ おかげさまキャンペーン

実施
期間

6/15 → 7/31

ウォータス本体 +
交換用スポンジ(×5枚)の特別セット



※ウォータスのみ、スポンジのみでの割引は致しかねますのでご了承ください。
詳しくは当社までお問合せください。

ホームページにウォータスを使用している映像があります。
ぜひご覧ください。

ウォータス

検索



クイックシート施工直前までの注意事項



直射日光厳禁

クイックシートを直射日光に長時間あてた状態ではシートが伸びたり、また柔らかくなり施工時に設置しづらい原因ともなります。

特にクイックシート黒色は熱の吸収率が高く、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがありますので施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立て掛け厳禁で保管ください。

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

#SANKO NEWS 7

2015年7月号 Vol.71

SANKO サンコー企業株式会社

石川県北郡津幡町宇旭山1番地2 〒929-0447
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-7992

月刊 サンコーニュース

MONTHLY SANKO NEWS

July
2015
Vol.71

7



クイックシート 保管 & 施工時の注意点を検証

- ① 溶融タイプ施工後 すぐに車で通過するとどうなるか
- ② コンクリートに貼付タイプを施工するとどうなるか
- ③ 炎天下にクイックシートを放置したらどうなるか
- ④ クイックシートを立て掛けて保管するとどうなるか

